



芦安中学校だより

第 1 号

校長 大石 浩雄

2025. 4. 15

☆令和7年度のスタート

新任式・始業式

4月7日(月)令和7年度のスタートとなる新任式と始業式が行われました。その中では新しく着任した先生方との対面や新年度のスタートにあたっての決意表明などが行われました。

新任式では、生徒代表として2年生の横谷梨緒さんが新任の先生方に向けて学校の様子や新しい出会いへの期待を歓迎の言葉として話してくれました。また始業式の中の決意表明では、3年生の笠井優さんが、これまでの先輩たちが芦安中のリーダーとして頑張ってきた姿を見てきたが、いよいよ自分たちの順番になったのでしっかりと頑張っていきたいと話してくれました。

今年度の全校生徒は9名。少ない人数ですが、だからこそ一人一人に大切な役割があります。その役割を果たす経験を通じて生徒が少しずつ精神的に成長していけるとよいと思います。



よく話題になります。新入生の決意として自分から学ぶという姿勢を発表してくれたことはとても良かったと思いました。式終了後は記念撮影等をした後、教室に行き教科書の配布や担任の話・今後の連絡などがありました。



今回の入学式で、式辞(新入生を迎える言葉)としても話したのですが、中学時代に身につけてもらいたい力として、自分の理想や目標に向かってみずから学ぶ力と協働する力があります。芦安中学校での生活を通じて新入生・在校生みんながこうした力を伸ばしてくれることを期待しています。



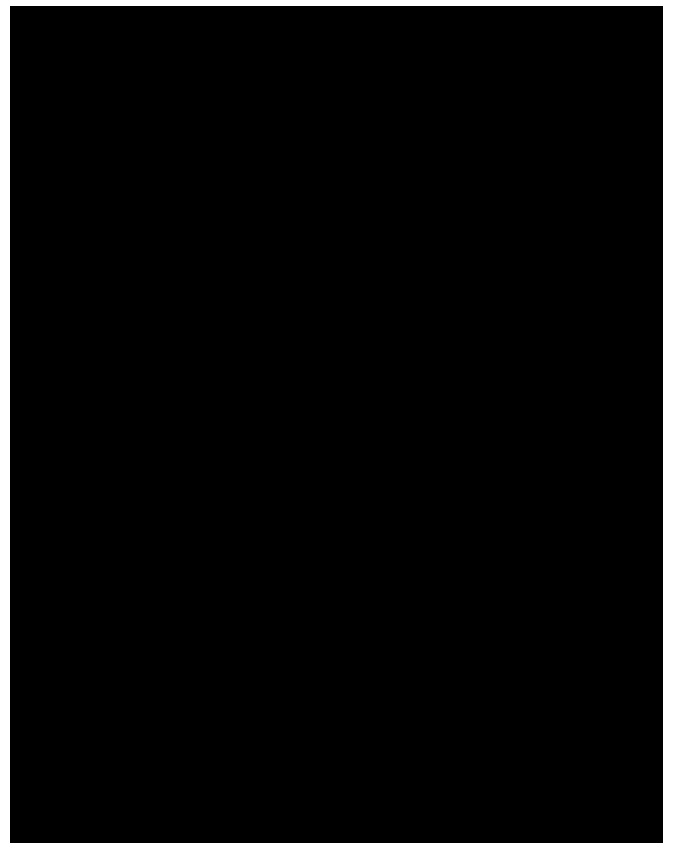
☆令和7年度芦安中学校

教職員の紹介

令和7年度の教職員は以下の通りです。どうぞよろしくをお願いいたします。

☆第79回入学式が行われました

新任式・始業式に続いて芦安中学校第79回入学式が行われました。今年度の入学生は1名でしたが、その1名を在校生があたたかく迎えることができたのではなかと思います。特に、生徒代表の3年生金川小次郎さんによる歓迎の言葉と在校全員による合唱は、心をこめることができていたように感じました。また、新入生の決意表明では、小学校の時にじゅうぶんでなかった自主学習を頑張っていきたいと話してくれました。最近「主体的に学ぶ力」ということが





芦安中学校だより

第 2 号

校長 大石 浩雄

2025. 4. 28

☆農園サポーターの活動

4月に入ってから農園サポーターのみなさんの活動が具体的に動き出しました。最初に取り組んでいたのは、農園の周りにあった獣害防止の囲いの修繕や土おこしでした。雨のため当初予定していた日からずれてしまいましたが、都合のつく方が集まりかなり作業が進みました。



私も休日に少しお手伝いさせていただきましたが、和気あいあいと雑談をしながらの作業は楽しいものでした。今後も少しずつ作業を進め、4月末に予定している苗植えができるようにしていく予定です。

これまでも書かせていただいたことですが、こうして地域の方が児童生徒のために力を貸してくれることは本当にありがたいことです。コミュニティスクールという言葉には、「地域とともにある学校」という意味があると言われます。地域とともにあるために、我々も地域に貢献できる学校をつくっていけるようにしなければと思っています。みなさまありがとうございます。

☆新入生歓迎会

4月10日(木)の6校時に在校生による新入生歓迎会が行われました。3月中旬から生徒会で企画、4月になってからは在校生全員で内容を確認して準備をしてきました。企画準備の様子を見て、それぞれの生徒が新入生を歓迎しようという気持ちをしっかりと持っていることが感じられました。



新入生を迎えて はじめての会



校舎案内へ出発

当日の歓迎会は、自己紹介から始まり、校舎案内やレジンづくりなどを通して交流を深めるといった内容で進められました。会の中での様子を見て、初めは

緊張した様子の新入生も次第に雰囲気に慣れてきたようでした。

歓迎会は新入生に楽しんでもらう、緊張をほぐしてもらうことを主な目的としていました。そのために、相手(新入生)の様子に気を配る、声をかけるということ意識して行動できていた生徒がいたことはよかったと思います。新入生のための会ではありますが、在校生にとってもよい学びの場であったのではないかと思います。



レジン制作は、いいアイデアでした

☆児童生徒引き取り訓練が

行われました

4月16日(水)の午後、芦安小中学校の合同引き取り訓練を実施しました。今回の引き取り訓練は、これまでと違うドライブスルー形式での実施でしたが、保護者のみなさまのご協力のおかげで円滑に実施できました。ありがとうございました。これまでの引き取り訓練は、災害発生時や災害発生の可能性が高い場合、保護者が徒歩で生徒を迎えに来るという設定で行われていました。ただ実際には芦安中生徒の多くが芦安地区外からバスや保護者の車で登下校をしています。保護者が歩いて迎えに来るのは現実的に難しいので、車で迎えに来ることを前提にした引き渡し訓練のほうが現実的で円滑に行えるのではないかと考え変更いたしました。

今年度初めてとなる防災訓練を実施したわけですが、その中で「一生の中で大きな災害に遭うかどうかは実際のところ分からない



しっかり話が聞けました

い。でも、その万が一の時のことを想定して訓練や準備をしておくことが大切」という話をしました。災害に限らず私たちの日常には、起きるかどうかわからないアクシデントや事象がたくさんあります。そうしたことに、どのような心構えて備えることがよりよく生きることににつながるのかを考え、普段の生活を振り返るきっかけにしてほしいと思っています。

☆全国学力学習状況調査

4月17日(木)に3年生を対象にした全国学力学習状況調査を実施しました。今年度は国語、数学、理科の3教科と生活に関する質問紙調査という内容でした。調査が始まりしばらくして様子を見にいくと、各自が懸命に取り組んでいる姿がありました。3年生なので入試などを意識しているのかもしれないのかなと思いました。

この調査は生徒の学習内容の習得程度や生活習慣・学習習慣などとの関連について調査して、今後の学習にいかしていけるようにすることが主なねらいです。

どのくらい正解できたということもありますが、各教科の学習のどの部分に課題や躓きがあるのか、生活の中でどのような部分を意識するとよいのかなどを確認していくことが大切になります。3年生には、今回の調査の結果をいかして自分の力を高めていってもらいたいと思います。



☆ルールを守って学習に活用を

4月18日(金)の1校時に、年度の初めにあたり学習用1人1台端末(クロームブック)の利用について全校生徒でルールや注意点を確認する「GIGA開き」を行いました。クロームブックは市から貸与されているもので、学習目的以外には使わないこと、破損しないように大切に扱うことなどについて話されました。

最近複数の学校で、ルールを守った適切な使用ができない児童生徒が増えているという話を聞きます。クロームブックが導入された時のある種の緊張感が薄れ、当たり前となったことでルーズな面が出てきているのでしょう。学習のための道具が逆に学習の妨げになったり、学校生活を乱す原因になったりでは本末転倒です。クロームブックは自宅に持ち帰ることもあるので、ご家庭でもお子様の使用状況に目を配っていただき、IT機器やインターネットの望ましい使い方などを話題にしてください。

☆授業参観・PTA総会・学年部会

4月25日(金)の午後に授業参観、PTA総会・学年部会が行われました。多くの保護者の方に参観、ご参加いただきました。ありがとうございました。今年度最初の授業参観ということで、学年ごとに



教科(1年数学、2年社会、3年理科)の授業を実施しました。生徒の学習に向かう様子はいかがだったでしょうか。授業参観の後は、芦安小中合同のPTA総会でした。この総会の中で、令和7年度の会長として中3生保護者の金川健太さん、副会長として小6生保護者の川手美智子さんらの役員が承認されました。また、今年度の予算や主な学校行事、緊急時の対応、学校農園について等話し合われました。総会後は各学年に分かれて学年部会が行われました。ここでは今後の行事や学校生活のことが話し合われました。PTA活動は、保護者と教職員が協力して児童生徒の学びをサポートしていくことが目的となります。今年度もPTA活動へのご理解とご協力をお願いいたします。



☆小中合同でサツマイモの苗を学校農園に植え付けました

4月28日(月)の朝の時間を利用して、児童会・生徒会を中心にして校庭南側にある学校農園にサツマイモ苗の植え付けを行いました。この活動

も芦安中学校の特色、自然体験学習の一つと言えます。

この日の終わりの会の中で、農園サポーターの方が話していたことに「苗を植えたら終わりではなく、これから水やりや草取りなどを続けていくことで初めて収穫できる」という内容がありました。とても大切なことであり、児童生徒たちに学んでほしいことが込められた言葉だと思いました。また、今回のような小中合同活動の場面は、中学生にとって社会の中での振る舞いを学ぶ機会

でもあります。中学生として小学生やサポーターの方にどう接したらよいのか、言われたことだけをやるのではなく、自分たちが主体として活動するとはどういうことなのか、こうしたことを考える生徒を増やしていけるとよいと思いました。

